

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

雪の舞う中、
新春を祝う

平成25年
鏡開き式・武道始め

・鏡開き・銘着初め・機陽演武・武道始め 各道場大会・武道別府府及び武流歴良団体表彰・おしるこ会
期日 平成25年1月14日(元・成人の日) 正午開会 主催：財団法人日本武道館 協賛：日本武道協会

平成25年

鏡開き式・武道始め

(1月14日・日本武道館大道場)



開の声をあげる大將軍と副將軍

平成二十五年 日本武道館 鏡開き式・武道始め 更なる武道の隆盛と発展を願う



安西邦夫大將軍による鏡開き

日本武道館年頭の恒例行事である「平成25年鏡開き式・武道始め」は、成人の日の1月14日、日本武道館大道場で開催された。

当日は、大雪の降る悪天候にもかかわらず、武道の愛好者や関係者、約2200名が会場に集まり、武功労者・武道優良団体の表彰、鎧着初め、鏡開き式、模範演武、武道始め（各道稽古会）などが行われた。

定刻の正午、太鼓の大音が鳴り響く。はじめに、三藤芳生日本武道館理事・事務局長が開会を宣し、次に国歌斉唱を経て、主催者を代表して、松永光日本武道館会長が挨拶に立った。

「日本武道館恒例の『鏡開き式・武道始め』に、大勢の方々がご参加されたことに厚く御礼申し上げます。武道は日本が世界に最も誇る伝統文化です。日本武道館は、武道を通し



久保公人
文部科学省スポーツ・青少年局長



高村正彦
武道議員連盟会長



松永 光
日本武道館会長

て、多くの皆様が日本人らしく、武道精神を持って、成長・発展し、国や地域社会、あるいは家庭のためにと、しっかりと頑張つて、そして日本を良くしていただきたいと思います。

幸いにして、6年前の第一次安倍内閣によって中学校武道必修化の実施が決定し、昨年の4月から実践されていますが、年頭に当たり、我々

は新たな気持ちで、武道の大切さを共有していかなければならないと思います。日本武道館は、今後より一層、武道の振興・発展のために尽くしていく所存です。皆様方のご協力を切にお願い申し上げます」

続いて高村正彦武道議員連盟会長が、「日本人の精神的バックボーンは武士道であり、その精神を伝えるものは武道であることは言うまでも



開会式



平成 24 年度 日本武道協議会 武道功労者及び武道優良団体

■ 武道功労者

- ◇ 柔道 佐藤宣践 (神奈川)
- ◇ 剣道 松永政美 (東京)
- ◇ 弓道 宮澤 廣 (長野)
- ◇ 相撲 松尾新吾 (福岡)
- ◇ 空手道 和田定治 (神奈川)
- ◇ 合気道 菅沼守人 (福岡)
- ◇ 少林寺拳法 小野寺米蔵 (千葉)
- ◇ なぎなた 日下秀子 (東京)
- ◇ 銃剣道 江川友親 (熊本)
- ◇ 日本武道館 安西邦夫 (東京)

■ 武道優良団体

- ◇ 柔道 帝京大学女子柔道部
- ◇ 剣道 剣道授業事例集作成部会
- ◇ 弓道 可児市弓道協会
- ◇ 相撲 青森県立三本木農業高等学校相撲部
- ◇ 空手道 東京都空手道連盟
- ◇ 合気道 愛知県合気道連盟
- ◇ 少林寺拳法 神奈川県少林寺拳法連盟
- ◇ なぎなた 岐阜県なぎなた連盟
- ◇ 銃剣道 皇學館高等学校銃剣道部

※ 31～51頁に武道功労者による「武道功労章受章に寄せて」が、212～213頁の「日本武道協議会のひろば」に武道優良団体の紹介記事があります。



三献の儀



侍大将による着到報告



副将軍による鏡割り



誓いの詞奉読

ありません。日本人であれば誰でもこの武道に触れてもらいたい。そして日本人の美しい心を取り戻してもらいたい。そういう想いで、中学校武道必修化が昨年からは始まりました。しかしまだ「仏」が作られた段階であり、魂が入っておりません。魂を入れるためには、学校の先生方にしっかりとやっていただくと同時に、武道の専門家である皆様方のご協力が必要です。皆様方のより一層のご健闘を心からお祈りし、お願い申し上げます」と祝辞を述べた。

引き続き、久保公人文部科学省スポーツ・青少年局長は、「我が国の長い歴史と伝統に培われた武道は、技の修練を通して心を磨き、体を鍛え、礼節を尊重する態度を養うと共に、豊かな人間形成に寄与する日本の伝統文化です。今日では、武道は幅広い年齢層で多くの人々に親しまれ、国内はもとより海外においても普及・発展してきています。また昨年4月からは、中学校において武道が必修化されました。これらを通じて、今後武道がますます発展していくと期待しています。新しい年を迎え、伝統を重ねたこの行事が、今年

一年の、我が国における武道振興の大きな弾みとなることを、心から祈っております」と述べた。

続いて来賓紹介のあと、日本武道協議会（武道9団体と日本武道館で組織）による平成24年度武道功労者及び武道優良団体の表彰式が行われ、松永光日本武道協議会会長から功労者には賞状と記念品、優良団体には賞状が授与された。

表彰が終わると場内は暗転し、「鑑着初め・三献の儀・出陣」へと移った。

再び場内が明るくなると、鎌倉武士の軍装を纏った勇壮な鎧武者たちが陣形を整えて大道場に出陣、観客を驚かせた。本年は、安西邦夫日本武道館副会長が大将軍役、堤清彰少林寺拳法連盟副会長と白綾基之日本甲冑武具研究保存会会長の両氏が副将軍役に扮した。奉行役の三浦公法日本甲冑武具研究保存会副会長の指揮の下、儀式は進んだ。

はじめに、侍大将が大将軍に全軍着到の報告を終え、三献の儀が行われた。続く鏡開きでは、大将軍が神前で誓いの詞を奉読したあと、気合を込めて鏡餅を打ち砕いた。間髪

一年の、我が国における武道振興の大きな弾みとなることを、心から祈っております」と述べた。

続いて来賓紹介のあと、日本武道協議会（武道9団体と日本武道館で組織）による平成24年度武道功労者及び武道優良団体の表彰式が行われ、松永光日本武道協議会会長から功労者には賞状と記念品、優良団体には賞状が授与された。

表彰が終わると場内は暗転し、「鑑着初め・三献の儀・出陣」へと移った。

再び場内が明るくなると、鎌倉武士の軍装を纏った勇壮な鎧武者たちが陣形を整えて大道場に出陣、観客を驚かせた。本年は、安西邦夫日本武道館副会長が大将軍役、堤清彰少林寺拳法連盟副会長と白綾基之日本甲冑武具研究保存会会長の両氏が副将軍役に扮した。奉行役の三浦公法日本甲冑武具研究保存会副会長の指揮の下、儀式は進んだ。

はじめに、侍大将が大将軍に全軍着到の報告を終え、三献の儀が行われた。続く鏡開きでは、大将軍が神前で誓いの詞を奉読したあと、気合を込めて鏡餅を打ち砕いた。間髪

鏡開き式・武道始め

平成25年

・鏡開き ・鎧着初め ・模範演武 ・武道始め(各道稽古会) ・武道功労者及び武道優良団体表彰 ・おしるこ会



威風堂々と出陣

過去の大將軍・副將軍役一覧

年	大將軍	副將軍※
昭和40	赤城宗徳(大將)	三浦英夫(副將)
41	江崎真澄	
42	三浦英夫	
43	赤城宗徳	三島由紀夫(大將)
44	赤城宗徳	
45	笹川良一	江崎真澄(大將)
46	毛利松平	
47	小坂善太郎	
48	園田直	三浦英夫
49	田中栄一	
50	植芝吉祥丸	小川半次
51	小川半次	田村倉蔵
52	石田和外	(甲冑研究会員)
53	大道場改修のため中止	仁藤正敏
54	早川 崇	仁藤正敏
55	河合堯晴	武藤英雄(剣道)
56	原文兵衛	青山豊太郎(柔道)
57	加藤武徳	藤川誠勝(相撲)
58	辻原弘市	佐々木清雄(銃剣道)
59	村山喜一	内山滋(少林寺拳法)
60	江崎真澄	若林英一(空手道)
61	坂本三十次	星野一雄(剣道)
62	木島喜兵衛	橋本与三郎(弓道)
63	尾崎朝夷	吉良隆俊(銃剣道)
平成元	塩川正十郎	山本信明(柔道)
2	館内大改修のため中止	
3	山下元利	倉澤吉一(剣道)
4	原文兵衛	奥村繁信(合気道)
5	片岡勝治	藤川誠勝(相撲)
6	江崎真澄	内山滋(少林寺拳法)
7	三塚 博	真野高一(空手道)
8	松永 光	鴨川乃武幸(弓道)
9	高村正彦	源川幸夫(銃剣道)
10	白井日出男	河盛敬子(なぎなた)
11	白井日出男	鳥海又五郎(柔道)
12	井上 裕	植芝守央(合気道)
13	奥田幹生	松村 豊(相撲)
14	松永 光	石丸俊彦(剣道)
15	松前達郎	新井庸弘(少林寺拳法)
16	松永 光	蓮見圭一(空手道)
17	高村正彦	鈴木三成(弓道)
18	白井日出男	藤原利将(銃剣道)
19	島村官伸	宮川祥子(なぎなた)
20	松永 光	関根 响(合気道)
21	白井日出男	尾崎 响(相撲)
22	高村正彦	佐藤 功(合気道)
23	中山成彬	松永政美(剣道)
24	安西邦夫	堤 清彰(少林寺拳法)

※昭和62年から副將軍役は2人となる。以下は、2人目の副將軍役。

昭和62・南孝二(高津映画装飾)、昭和63、平成元、4、5・廣井雄一(文化庁)、平成2・北根祥男(文化庁)、平成6～8・廣井雄一(東京国立文化財研究所)、平成9、10・青木繁夫(東京国立文化財研究所)、平成11、12・小笠原信夫(東京国立博物館)、平成13・鈴木嘉定(日本美術刀剣保存協会)、平成14・湯沢貞(靖国神社)、平成15・武田邦信(武田家旧温会)、平成16・廣井雄一(日本甲冑武具研究保存会)、平成17～21、23～25・白綾基之(日本甲冑武具研究保存会)、平成22・小菅一憲(日本甲冑武具研究保存会)

を容れずに副将軍が鏡樽を叩き割ると、その息の合った鏡開きに、場内から喚声と拍手が湧き起こった。

そして大將軍、副将軍が兜かぶとを着けると、全軍が一斉に立ち上がり、大將軍の扇の合図に合わせて「エイ、エイ、オー」と関とくの声をあげて出陣し、大道場を威風堂々と練り歩いた。戦国絵巻さながらの光景に場内から惜しめない拍手が送られた。



◎安西邦夫大將軍



大將軍役はいかがでしたか。

「予想以上に兜と鎧が重く、ほとんど自由が利かないほどでした。しかし、観客席の皆様方のご声援がよく聞こえ、大変に感激いたしました」

続いて、模範演武の前に、臼井日出男日本武道館理事長が壇上に立ち、来場者に挨拶を行った。

模範演武は、弓道の「二つの座射礼」を皮切りに、空手道の「女子団体形」、剣道の「全日本剣道連盟杖道」、合気道の「基本技・応用技・自由技」、銃剣道の「銃剣道の形・応用技・試合」、柔道の「古式の形」、少林寺拳法の「単独演武・女子団体演武・組演武」、なぎなたの「リズ

——武道功労章受章について。

「一生に一度のことですから、大変に光栄で得難い経験をさせていただきました。ありがとうございます」

——年頭に当たり、日本の将来について一言お願いいたします。

「まだ明るいものがちよつと見えただけではないでしょうか。これからまた参議院で選挙がありますが、それに備えてあまり急いいろいろなことをしても難しいと思います。じっくりと折れない覚悟でやっていただきたいと期待しています」

ムなぎなた」と順に披露され、最後に相撲の「基本動作と技・決まり手の説明」で締めくくられた。一流の演武に魅了された会場は歓喜の声と拍手で包まれ、最後まで沸き立った。模範演武が終わると大道場いっばいに広がったの「武道始め（各道稽古会）」となった。全員一斉の礼で始まった稽古会には、弓道を除く8種目から、老若男女約1700名が参加、会場は熱気に包まれた。

◎堤清彰副将軍



「素晴らしい役をいただき、ありがとうございます。古武士の風格を感じ、本当に身の引き締まる思いでした。今年の少林寺拳法グループのキーワードは『進』です。しっかりと前に進み、一致団結して更に絆きずなを深める年にしたいと思っています」

います」

約40分間の稽古を終え、清々しい汗を流したあとは、お楽しみ「おしるこ会」となった。「おしるこ会」には一般の観客も参加し、また、鏡樽のお酒も振る舞われた。

大道場のあちこちで車座になってお餅を食べる子供たちや、お酒を酌み交わして新年を祝い、談笑する大人たちの姿など、和やかな雰囲気の中、式はお開きとなった。

◎ポール・アルフォンス氏（35歳）

侍役で参加。タンザニア出身で、日頃は少林寺拳法の修行に励んでいるとのこと。

「鏡開き式に参加する機会を得て、このような形で日本の武道に触れることができて、とても感謝しています。これからもいろいろと学び、精進していきたいと思っています」





弓道

模範演武

「ただ今から、模範演武を行います。演武者は現代武道9種目の代表の方々です。短い時間ではございますが、各道の真髄をしっかりと示していただきたいと思います。ぜひご覧ください」



白井日出男
日本武道館理事長



空手道



柔道



合気道



剣道(杖道)



銃剣道



少林寺拳法



相撲



なぎなた

■模範演武者(演武順)

◇弓道Ⅱ坂本武彦教士八段、齋藤往子教士七段、村川平治教士八段

◇空手道Ⅱ木村陽子四段、柏岡鈴香二段、森岡実久二段

◇剣道Ⅱ古川瞬也杖道範士八段、荒井洋杖道範士八段

◇合気道Ⅱ金澤威七段、入江嘉信六段、桂田英路六段、伊藤眞五段、小山雄二四段、内田直人四段、日野皓正四段、徳田雅也式段

◇銃剣道Ⅱ唐川敏博教士八段、田代勝教士八段、坂元誠教士七段、加藤公久錬士六段、保志智康錬士六段、栗原毅六段、小倉弘之六段、栗田淳五段、佐藤岳五段

◇柔道Ⅱ佐藤良吉七段、加藤隆雄六段

◇少林寺拳法Ⅱ荒井章士准範士六段、田中由喜大拳士五段、石井明仁大拳士五段、大嶋朋子正拳士四段、向谷颯子中拳士三段、稲川真理少拳士二段、山村華加少拳士二段、畔蒜みく少拳士二段、杉森郁美少拳士二段

段

◇なぎなたⅡ吉井和代錬士、谷本由香里五段、照井順子四段、小山知子四段、新井伸枝四段、小原百合奈三段、栗原みほ子三段、橋本実紀三段、志藤瑠美二段

◇相撲Ⅱ外田守七段、棟方拓哉参段、大野幸樹参段、高木立太四段、黒川宗一郎四段、久保裕参段、鳩岡良祐参段



武道始め（各道稽古会）



おしるご会



日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武士道に学ぶ

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



<増補版> 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

（四六判・上製・274頁）



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

待望の 単行本化 嘉納治五郎と講道館の高弟をはじめとする 日本人の手による柔道の国際的普及の歴史



柔道の国際化

— その歴史と課題 —

講道館柔道を創始し、自ら柔道を世界に広めるため尽力した嘉納治五郎。嘉納の意思を受けて海外雄飛した、講道館を代表する高弟たち。彼らは如何に、どのような思いで、普及に取り組んだのか。
数々の資料を繙き、柔道が世界的な競技となるまでの、先達の足跡をたどる。そして、そこから見えてきた運動文化の国際的普及における課題とは。

(四六判・上製・552頁)

財団法人講道館 図書資料部長

村田直樹 著

題字 講道館名誉館長・嘉納行光



第1章 普及への意思

柔道史の原点

欧州教育事情視察

第2章 海外への進出

米国大統領の入門

新大陸へ派遣第2号

異種格闘技に生きた前田光世

英国柔道の基礎―武道会

武道会を訪れた嘉納と高弟会田

小泉が語る英国柔道史

仏蘭西への道

メトード・カワイシとは何か

駐仏日本国大使 杉村陽太郎

続々と仏蘭西へ

海外より見た柔道―独逸通信

東洋への進出

異文化理解の容易な道

第3章 国際柔道連盟の結成

国際柔道連盟設立の前夜

嘉納逝き連盟成らず

欧州から国際柔道連盟の結成

講道館長、国際柔道連会長に就任

世界柔道選手権大会開催

東京五輪招致成功

東京五輪と正式種目柔道

パリの仇

体重別に勝ち、無差別に散る

第4章 道とスポーツ

日本の後退 欧州の前進

変わり行く柔道

不易流行

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

講道館鏡開き式

柔道関係者700名が新年を祝う

講道館鏡開き式は1月13日、講道館大道場で約700名の参加者を集めて開かれた。

はじめに館員を代表して岡本榮八郎九段が賀詞を述べた。

「柔道が国際的に発展する中、一本をとる柔道を目指し、嘉納治五郎師範の『己を完成し世を補益する』という遺訓をもとに、底辺の拡大に努めてまいります。本年も日本伝講道館柔道を一層発展・向上のために、努力する決意を申し上げます」

これを受け、上村春樹講道館長が挨拶に立った。



上村春樹講道館長

「昨年は、講道館が創立されて、130周年の年でありました。この記念すべき年に、中学校で武道必修化が完

全実施されました。短い時間ではありますが、将来に向けて困難に立ち向かう強い体と心を身に付けるための、きっかけにしてほしいと思います。柔道界をあげて、安全安心な柔道授業の実施に向けて、協力して行く所存です。

また、昨年はロンドンオリンピックが開催されました。135の国と地域が参加し、熱戦が繰り広げられました。今後も、世界に正しい柔道の普及発展のための努力をしていかなければならないと感じます。

我々は、競技としての柔道と人づくりとしての柔道を目指し、嘉納治五郎師範が創始した柔道を正しく後世に伝えるための事業を行ってまいります」

次に形の演武が行われ、7つの形が披露された。続いて、少年部、女

【形演武者】

▽投の形Ⅱ取・金丸雄介五段、受・横山喬之五段▽固の形Ⅱ取・下山陽邦五段、受・岩村衡六段▽極の形Ⅱ取・平野弘幸七段、受・高野賢司六段▽柔の形Ⅱ取・石田桃子

子部、成年部の順で強化選手を相手に乱取稽古が行われた。その後、昇段者が発表され、上村館長から各段位の代表者に証書が授与された。

恒例のしるこ会では、参加者全員でしるこを食し、新年を祝った。最後は、西岡弘九段の発声で万歳三唱が行われ、式は和やかな雰囲気の中、お開きとなった。



形の演武（五の形）

女子参段、受・石田真理子女子式段▽講道館護身術Ⅱ取・南保徳双六段、受・山本三四郎六段▽五の形Ⅱ取・宗義明八段、受・榎義治八段▽古式の形Ⅱ取・村田直樹七段、受・菅波盛雄七段



女子部の乱取稽古

合気会鏡開き式

新年に、千名の修行者が集う



植芝守央道主

合気会鏡開き式は1月13日、合気会本部道場で約1000名の参加者を集めて開かれた。

鏡開き式には大勢の参加者が詰めかけ、本部道場の2、3、4階に設けられた会場は、開始前から満員となった。午後2時、植芝守央道主が3階大道場に姿をあらわすと、参加者は一斉に背筋を伸ばし、視線を正面に集中させた。大澤勇人七段の司会で式は進み、まず始めに植芝道主が年初の挨拶を述べた。

「新年を迎え、あらためて原点に戻り、基本を大切にしようという気持ち

ちでおります。決してぶれずに、開祖の作られた精神を大切にしながら、思いやる心を持ち、社会に貢献したいと考えます。そのためには、日々の稽古を大切にして、しっかりと前を向いて歩んで行くことが必要です。今年も皆様と共に、精進してまいりたいと思います」

次に、合気会役員を代表して古藤昇司常務理事、来賓を代表して山谷えり子参議院議員、フォルカー・シュタンツェル・ドイツ連邦共和国特命全権大使、保坂三蔵元参議院議員が挨拶に立った。

続いて、植芝道主による奉納演武が披露された。その後、推薦昇段者697名の発表があった。初段から七段までの各段位の代表者と、八段位9名

(窪田育弘氏、若林忠晴氏、亀井格一氏、尾崎响氏、坪井威樹氏、柴田一郎氏、安野正敏氏、山田博信氏、稲垣繁實氏)に植芝道主から直接、證書が手渡された。

直会なほらいの前には、多田宏本部師範が挨拶に立ち、続いて貞國鎮監事の発声で乾杯が行われた。直会では参加者全員にしろが配られ、和やかな雰囲気の中、新年を祝い合った。



植芝道主による奉納演武



昇段證書授与

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



（B5判・236頁）

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

合気道は4話を掲載！



多田宏先生



磯山博先生



菅沼守人先生



東北大学学友会合気道部

好評発売中

『人、人、人、
すべては人の質にある……』
少林寺拳法創始者・宗道臣先生に
直接手ほどきを受けた著者入魂の
武道教育論！

可能性の

種子たち

『^{はく}魄』は生きるための生命力——
『^{こん}魂』は人間を善に導く原動力——

魂魄（こころ）が健全に育てば、豊かな感性や
意思力、行動力などが備わり、やがて得るであ
る多くの知識を、智慧とすることができ、
子どもたちの躍動の一つひとつが、可能性の種
子の芽生えなのである。

——魂魄（こころ）を育てる——

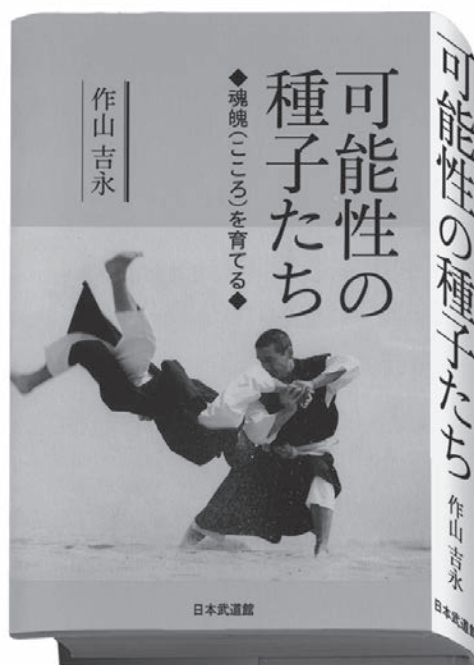
金剛禅総本山少林寺茨城高萩道院長

作山吉永 著

（四六判・上製・338頁）

主な目次

第1章 少林寺拳法／第2章 直心是道場／第3章 師事／
第4章 マイ・アメリカ／第5章 可能性の種子、芽吹く／
第6章 嵩山少林寺／第7章 魂魄（こころ）を育てる／
第8章 新しい扉を開く



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

少林寺拳法連盟鏡開き・稽古始め

8月に大阪で世界大会を開催

1月13日、「2013年 少林寺拳法連盟鏡開き・稽古始め」が香川県多度津町にある一般財団法人少林寺拳法連盟本部にて開催された。当日は気温も冷え込み、肌寒く感じられたが、全国各地からは昨年を上回る2千人強の拳士・保護者、関係者が訪れ、新年の幕開けを祝った。



全体基本の様子

午前9時30分、会場の錬成道場には、全国から参加した一般と少年部の拳士、保護者、関係者が集まり、「鏡開き・稽古始め」が開催された。

はじめに、荒井章士振興普及部長を主座に鎮魂行が行われた。続いて全体基本が行われ、会場全体に大きな気合いが鳴り響いた。その後、少年部は錬成道場に残り、一般は第二修練道場に会場を移して、それぞれ初稽古に臨んだ。

一般では、荒井部長による剛法と柔法の技術指導が行われた。剛法では「十字受蹴」、柔法では「突抜」などの法形が指導され、参加者は皆、熱心に修練に励んだ。また、少年部では、少林寺拳法スイッチと題した新しい修練法を実施した。「あ

いうえお」から一文字をお題とし、例えば「う」であれば、「内受突」など、少林寺拳法に関連付けた動作で体を動かし修練する方法である。

毎年、稽古始めの少年部の指導内容は、子供たちがより楽しく取り組めるよう、工夫が凝らされており、参加の子供たちはもちろん、保護者からも大変好評を得ている。今年も錬成道場からは終日、元氣溢れる大きな気合いが鳴り響いた。

午前11時過ぎ、新井庸弘会長により年頭挨拶が行われた。まず、昨年4月より開始された中学校武道必修化の現況報告と、12月に開催された「少林寺拳法創始者宗道臣生誕100年記念2012年少林寺拳法全国大会inかながわ」に対する感謝の言葉が述べられた。そして、「今年8月に大阪で開催される少林寺拳法世界大



新井庸弘会長の年頭挨拶

会、また連盟本部にて開催の国際講習会では、海外から多くの拳士が参加されます。日本での開催は8年ぶりですので、ぜひ、海外の拳士と触れ合う良い機会に積極的に参加してください。そして今年も、各々が創始者の志を胸に、もう一度原点に立ち返り、明るく、元気で、楽しい稽古のスタートを切りましょう」と挨拶された。

続く「演武披露」では、様々な世代の少林寺拳法を披露する趣旨に基づき、①小学生（4組同時）②中学生③親子④大学生（三人掛演武）⑤一般組演武（本部職員）の順で演武が披露され、各世代の持つ味わいと、迫力と冴えのある演武に、会場からは大きな拍手が沸き起こった。

引き続き参加者による「演武会」となり、全国から参加の約250名の拳士たちが元氣よく演武を披露した。

また、新春にふさわしく、境内では終日、錬成道場では修練後に、ぜんざいが振る舞われた。連盟本部は、新たな年に希望を膨らませた拳士たち、そして保護者たちで、ひとときわ賑わっていた。

（文・写真）少林寺拳法連盟

世界空手道選手権大会 — World Senior Karate Championships —

日本が 11 個のメダルを獲得 金 4、銀 1、銅 6

第 21 回世界空手道選手権大会（主催＝世界空手連盟〔WKF〕）は、昨年（2019）年の 11 月 21 日～25 日、フランス・パリ市のベルシー体育館で開催された。WKF の世界大会は 2 年に一度開かれ、本大会は 116 の国と地域より 1443 名の選手がエントリーした。

日本は全 16 種目に 21 名が参加し、金 4・銀 1・銅 6 の計 11 個のメダルを獲得した。これは出場国中、地元のフランスに次いで 2 位の成績である。前回大会（セルビア、2010 年）での金 2・銀 2・銅 3 という成績から、形競技および女子組手競技を中心に大きく飛躍した。

（文・写真＝空手道マガジン月刊 JKFan）



女子組手 68kg 級優勝＝染谷香予（帝京大）



女子個人形優勝＝中佐美里香（鳥取県教委）

日本選手団の記念写真



■形競技

形は日本の「お家芸復活」となった。女子個人形では前回大会3位の宇佐美里香（鳥取県教委）が決勝に進出し、フランスのスコルドと対戦。スコルドに対し地元の大応援が起るも、後攻の宇佐美の演武が始まると、フランスの観客も完成度の高さに感動して拍手を送った。演武終了後には観客が総立ちになり、スタンディングオベーションが起こった。結果は5―0で宇佐美が悲願の初優勝を果たした。日本にとっては2004年メキシコ大会の若井敦子以来、4大会ぶりの快挙。宇佐美は「若井さんとの『女子形の世界一』を、日本に取り戻す」という約束を果たせて嬉しい」と、涙ながらに語った。

また、2連覇中の女子団体形は、前回大会の経験者である木村陽子（グロウバル）と、今回から新たにメンバー入りした森岡実久（関西学院大）・柏岡鈴香（同志社大）が出場。決勝ではクルルンファを演武し、イタリアを破って優勝。2008年の東京大会から数えて3連覇達成となった。

また、男子個人形は初出場の喜友名諒（沖縄国際大）が銅メダルを獲得。男子団体形は、帝京大学現役生の杉野拓海・相馬昂翔・在本幸司がチームを組み、過去3回の優勝経験を持つイタリアを決勝で破って優勝を果たし、1998年のリオデジャネイロ大会以来の「団体形アベック優勝」を達成した。

オリンピックを意識した大会運営、IOC委員も視察に訪れる



エスピノス WKF 会長

2020年オリンピックでの正式種目入りを目指すWKFは、「The K（空手）is on the way」と題したPR活動を積極的に続けている。新たな正式種目が決まるIOC総会まで1年を切った状況で開催された本大会には、IOC委員が視察に訪れた。WKFのアントニオ・エスピノス会長は、正式種目入りに向けて、設備、規模、運営、セキュリティ、演出などあらゆる面で「オリンピックと同規模・同水準の世界大会にした」と記者会見の場で述べた。



女子団体形優勝Ⅱ日本
左から柏岡、森岡、木村



男子団体形優勝Ⅱ日本
杉野（上）、相馬（左）、在本（右）



男子個人形3位Ⅱ喜友名諒（沖縄国際大）



女子個人組手 -61kg級 3位＝宮本優（優希）〔左〕



女子個人組手 -55kg級 3位＝小林実希（帝京大職）〔右〕



女子個人組手 +68kg級 3位＝
植草歩（帝京大）〔左〕

■女子組手

▽-50kg級

大野ひかる（同志社大）は1回戦でビジャヌエバ（ドミニカ）と対戦し、1ポイントをリードするも上段蹴りをくらいい、1―3で逆転負けを喫した。

▽-55kg級

前回大会で優勝の小林実希（帝京大学職）が出場。2回戦でフランスのルーシーと対戦したが、序盤に硬さが見られ、0―3で敗北した。そ

の後、ルーシーが決勝に進出。敗者復活戦への出場権を得た小林は、試合を重ねるうちに本来の調子を取り戻していく。

3位決定戦では、カザフスタンのザハロワに、投げ技からの突きを3度決めるなどして10―0と圧勝。会場を大いに盛り上げる組手をし、銅メダルを獲得した。

▽-61kg級

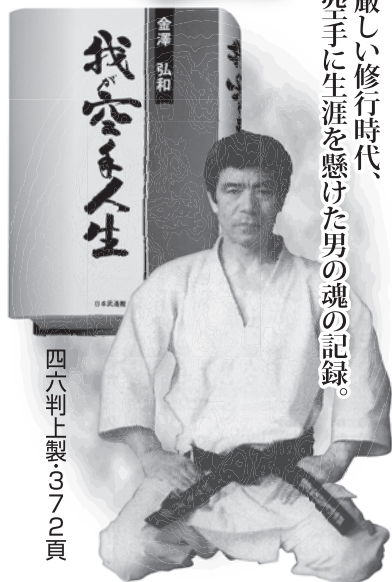
世界大会は2度目の出場となる宮本優（優希）は、順調に勝ち進むも準々決勝でフランスのドナに上段蹴りを決められるなどして敗退。その後、敗者復活戦で勝ち、3位決定戦ではヤシヤール（トルコ）と対戦。残り10秒の時点で1―2と劣勢に追い込まれる。しかし、ヤシヤールが不用意に出した刻み突きに合わせて脚をかけて倒し、渾身の突きを決めて一本（3ポイント）を獲得。さら



我が空手人生

国際松濤館空手道連盟館長

金澤 弘和 著



四六判上製・372頁

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp>

生いたちから父母の教え、「からて」との出会い、拓殖大学空手部に始まる厳しい修行時代、全日本制覇、海外への普及、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、空手に生涯を懸けた男の魂の記録。

染谷、努力の成果を結実。

涙の初V



優勝が決まると、それまで見せていた気迫みなぎる表情から一転、感動の涙を止められない染谷。「今まで大事な試合の前にケガをするなど、悩んだ時期もありましたが、がむしゃらに練習を続けてきました。『頑張つてよかった』と思うと涙が止まりません」と語った。

染谷は、高校3年生でナショナルチーム入りし、2011年、大学2年生で全日本選手権優勝など、着々と力を伸ばしていたが、この世界大会まで、個人戦ではタイトルを獲ったことがなかった。

「これまで出場した国際大会では、『相手が外国人だから』と意識しすぎて負けていました。今回は自分の組手をしようと心がけました」
今大会、空手競技世界一という最高のタイトルを獲って努力の成果を結実させた。

に1ポイントを追加し、5―2で逆転勝利を果たした。

▽68kg級

初出場の染谷香予（帝京大）が、強豪ぞろいの重量級で見事、優勝を収めた。初戦から得点のタイミングをつかみ、相手の技の出端に吸い込まれるような突きを決めていった。シンブルながら芯が強い突きには、審判の旗が次々と挙がった。

決勝戦ではトルコのブルクと対戦。身長差で優るブルクは飛び跳ねるようなステップで揺さぶりをかけて、突き技で攻める。しかし、機先を制するように染谷がその突きを抑えながら、右上段突きで先制した。ブルクは流れを変えようと蹴りを

狙い始めたが、染谷はここでも技の出端を狙って飛び込み、得点を重ねていく。染谷の鋭い反応力、確実な得点力の前にはブルクの技も勢いがなくなり、時間いっぱい使い切つて、5―0で染谷が初優勝を叶えた。

▽68kg級

学生チャンピオンの植草歩（帝京大）は、2回戦でフランスのイブラヒムに敗退するも、敗者復活戦を闘い抜く。3位決定戦では、カーギル（スイス）と対戦した。試合は、お互いにポイントが決められず、0―0で時間。判定となり、終始自分から攻撃を仕掛けていた植草が支持され、3―2で勝利。銅メダルを勝ち取った。

▽団体戦

小林、宮本、染谷、植草の4名で臨んだ女子団体組手（試合は3人制）。準決勝で長身選手が揃うクロアチアの高い壁を越えることができず、0-2で敗退した。しかし、3位決定戦では、メキシコを相手に先鋒・宮本と中堅・小林が投げてからの突きを決めるなどして圧勝。大將の染谷に回すことなく3位入賞を決めた。女子団体組手のメダル獲得は2006年フィンランド大会での優勝以来、3大会ぶりのことである。



女子団体組手3位＝日本（左から植草、染谷、宮本、小林）

■男子組手

▽60kg級

アジア大会銅メダル、京都産業大1年生の荒賀慎太郎が出場するも、初戦でモロッコの選手に0-1と惜敗。世界でのメダル獲得はならなかった。

▽67kg級

初出場の遠山将平（帝京大）は、1回戦でキム（韓国）に3-8で敗退。敗者復活戦への出場も叶わなかった。



男子個人組手-75kg級3位＝松久功（エヌケーシー）〔右〕

▽75kg級

2012年いっぱいでの引退を表明していた松久功（エヌケーシー）は、攻守ともに世界トップクラスの試合運びで、準決勝まで勝ち上がる。

安定した勝ち上がりだったものの、ここでヨーロッパチャンピオンのブサ（イタリア）と対戦し、0-2で敗退。うなだれてコートを後にするも、3位決定戦では気持ちを入れ替えて臨み、ボルコニー（オーストリア）に8-0の完全勝利。最後の得



男子個人組手-84kg級準優勝＝荒賀龍太郎（京都産業大）〔左〕

点は、「サソリ蹴り」の異名を持つ後ろ上段回し蹴りで挙げ、会場のファンをどつと湧かせた。

▽84kg級

全日本選手権者の荒賀龍太郎（京都産業大）は、自身3度目の世界大会で、ついに決勝進出を果たした。相手は、地元フランスのグリヨン。序盤は互いに技が出ず、両者に「不活動」の忠告が課せられる。荒賀はグリヨンが詰めれば間を切り、時折、様子を探るように詰める。好機をう



デモンストレーションとして、試合形式の障がい者空手道演武が行われた。世界中から選手が集まった中、日本から大庭康貴（上）、柴田一哉（下）の両選手が現地を訪れ、大観衆の中、堂々の演武を披露した。

かがう荒賀だった、前へ出た拍子にグリヨンの上段突きが決まり、0―1と先制を許す。しかし、荒賀もすぐさまワンツーで取り返し1―1と並ぶ。その後もポイントの取り合いになり、接戦が続く。3―3となったところで、荒賀は中段突きを放つも、合わせて出たグリヨンの突きがポイントとなって3―4。残り30秒ほどとなり、上段にワンツーを突いてきたグリヨンに、荒賀が間を切って上段蹴りを合わせた。審判はグリヨンの先制を支持。さらにグリヨンが追加点をあげ、最終スコアは3―6。荒賀は惜しくも銀メダル獲得に終わった。

▽+84kg級

香川幸允（テアトルアカデミー）

は初戦、上段蹴りを決めるなどして勝利する。2回戦、シエパード（オランダ）との対戦は、スコア0―0で勝負がつかず、判定で敗北。得点が課題となった。

■団体組手

日本チームは1回戦から世界チャンピオンのアガイエフ率いるアゼルバイジャンと対戦。

先鋒の荒賀龍太郎は3―0で勝ち、次鋒の松久もアガイエフの反則負けにより8―0の大差をつけて勝利した。しかし、中堅・香川が0―2、副将・飯村吏毅哉（日本空手協会）が1―4、大将・篠原浩人（セレナス）が0―1と続けて敗北し、2勝3敗で初戦敗退となった。

【大会結果】

	優勝	2位	3位	日本・日本人選手結果
▽組手				
団体	フランス	トルコ	エジプト／イラン	日本＝1回戦敗退
-60kg級	Amir Mehdizadeh (イラン)	Douglas Santos Brose (ブラジル)	Marko Antic (セルビア) Mohamed Ali (エジプト)	荒賀慎太郎 (京都産業大)＝1回戦敗退
-67kg級	Magdy Hanafy (エジプト)	Saeid Ahmadi Karyani (イラン)	William Rolle (フランス) Brian Ramrup (アメリカ)	遠山将平 (帝京大)＝1回戦敗退
個人				
-75kg級	Luigi Busa (イタリア)	Rafael Aghayev (アゼルバイジャン)	松久功 (エヌケーシー) Oualid Bouabaoub (アルジェリア)	
-84kg級	Kenji Grillon (フランス)	荒賀龍太郎 (京都産業大)	Aykhan Mamayev (アゼルバイジャン) Yavuz Karamollaoglu (トルコ)	
+84kg級	Enes Erkan (トルコ)	Shahin Atamov (アゼルバイジャン)	Stefano Maniscalco (イタリア) Khalid Khalidov (カザフスタン)	香川幸允 (テアトルアカデミー)＝2回戦敗退
▽形				
団体	日本	イタリア	フランス／エジプト	
個人	Antonio Diaz (ベネズエラ)	Vu Duc Minh Dack (フランス)	喜友名諒 (沖縄国際大) Luca Valdesi (イタリア)	
▽組手				
団体	フランス	クロアチア	日本／トルコ	
-50kg級	Alexandra Recchia (フランス)	Hong Li (中国)	Serap Ozcelik (トルコ) Ana Josefa Villanueva (ドミニカ)	大野ひかる (同志社大)＝1回戦敗退
-55kg級	Lucie Ignace (フランス)	Jelena Kovacevic (クロアチア)	小林実希 (帝京大職) Yassmin Attia (エジプト)	
個人				
-61kg級	Lolita Dona (フランス)	Boutheina Hasnaoui (チュニジア)	宮本優 (優希) Elena Quirici (スイス)	
-68kg級	染谷香予 (帝京大)	Hafsa Seyda Burucu (トルコ)	Heba Abd Elhamid (エジプト) Tiffany Fanjat (フランス)	
+68kg級	Nadege Ait Ibrahim (フランス)	Greta Vitelli (イタリア)	植草歩 (帝京大) Eleni Chatziliadou (ギリシャ)	
▽形				
団体	日本	イタリア	スペイン／フランス	
個人	宇佐美里香 (鳥取県教委)	Sandy Scordo (フランス)	Yaiza Martin Abello (スペイン) Sakura Kokumai (アメリカ)	

日本武道館の単行本

空手評論家
金城

裕
(きんじょう ひろし) 著

唐手から空手へ

題字 松永光 日本武道館会長

唐手から空手へ

金城 裕

日本武道館

(四六判・上製・四五四頁)

今の空手は、その源流である唐手^{からて}の精神と伝統の技を忘れて成長してしまった。空手の将来に豊かな展望を持つためにも、唐手誕生の歴史を正しく認識する必要がある――。

空手修業歴八十年。生涯を空手に捧げてきた著者が史料を繙きながら、唐手が誕生し、空手となった過程を辿る。武道研究者必携の一書。

〈目次〉

- 第一章 「唐手」とは、の問いに答える
- 第二章 中国拳法を巡って
- 第三章 琉球と中国の関係史
- 第四章 松村宗昆、「手」に息吹きを与える
- 第五章 首里手から唐手へ
- 第六章 「唐手」から「空手」へ
- 終章 空手の進むべき道

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)

日本の武道

日本武道館 編



一千数百年の歴史を有する武道の全容を一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実の巻末資料など、武道関係者必携の書。

(B5判・上製・箱入・526頁)

我が空手人生

金澤弘和 著



国際松濤館空手道連盟館長 金澤弘和 著
父母の教え、「からて」との出会い、厳しい修行、組織の結成、そして独自の空手理論構築まで、世界に空手を普及した男の記録。

(四六判・上製・372頁)

武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授 菅野 純 著



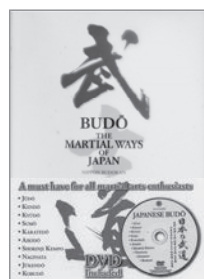
臨床心理学の立場から、子どもを育む武道の可能性、教育力に迫る。子どもをより良く伸ばすための知恵と珠玉の言葉を満載。

(四六判・上製・410頁)

BUDO:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編



武道のすべてを網羅した『日本の武道』の英語版。海外武道修業者におすすめの書。

(B5判・上製・336頁・DVD付)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



武道の良さ、すばらしさを、わかりやすく描く。大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。空手道は5話を掲載。

(B5判・並製・236頁)

大先輩に聞く

月刊「武道」記者 田谷将俊 著



各武道の先達三十名に直接取材。武道との出会いから修行時代、そして現在を語る。空手道では江里口栄一、辻川禎親、金城裕の3氏を収録。

(四六判・上製・376頁)

剣道男子決勝Ⅱ代表戦、高輪高・佐々木が面で攻める



若潮杯争奪武道大会

剣道団体、 高輪高（東京）が接戦を制して2連覇

第29回若潮杯争奪武道大会（主催Ⅱ日本武道館、国際武道大学）が、昨年12月26、27日に、国際武道大学で開かれ、初日は剣道、2日目は柔道となぎなたの競技が行われた。

□剣道の部（男女各24チーム）

5人制で行われ、予選は3チームによるリーグ戦、決勝は各リーグ1位のトーナメント戦によって覇が競われた。

男子決勝は、高輪高（東京）と育

英高（兵庫）が対戦。1―1で代表戦にもつれ、高輪高・佐々木陽一朗が面で一本勝ちし、同校の優勝を決めた（2年連続の優勝）。

女子は麗澤瑞浪高（岐阜）が筑紫台高（福岡）を2―0で降して2連覇を果たした。

□柔道の部（男女各16チーム）

男子5人制、女子3人制で行われた。予選は4チームのリーグ戦、決勝は各リーグ上位2チームによるトーナメント戦で争われた。

男子は決勝で東海大付属浦安高（千葉）が国士舘高（東京）を3―1で退けて優勝（2年連続）。女子は敬愛高（福岡）が帝京高（東京）を3―0で降し、2連覇を遂げた。

□なぎなたの部（男子21名、女子48名）

男子は予選リーグを勝ち抜いた8人が、トーナメント戦により覇を競った。決勝は、村野迅斗（埼玉栄高）が丹下龍哉（浦和東高）から面を奪って優勝を決めた。

女子予選は3人によるリーグ戦、決勝は各リーグ1位によるトーナメント戦で争われた。決勝は、遠山千晶（甲府昭和）が松下由輝（千葉女子高）に面を決めて勝利した。



なぎなた男子優勝
村野迅斗（埼玉栄高）



なぎなた女子優勝
遠山千晶（甲府昭和）

【大会結果】

□剣道

▽男子Ⅱ①高輪高（東京）②育英高（兵庫）③秋田市立秋田商業高（秋田）、都城東高（宮崎）

▽女子Ⅱ①麗澤瑞浪高（岐阜）②筑紫台高（福岡）③茨城県立守谷高（茨城）、桐蔭学園高（神奈川）

□柔道

▽男子Ⅱ①東海大付属浦安高（千葉）②国士舘高（東京）③崇徳高（広島）、東海大付属相模高（神奈川）

▽女子Ⅱ①敬愛高（福岡）②帝京高（東京）③松商学園高（長野）、東北高（宮城）

□なぎなた

▽男子Ⅱ①村野迅斗（埼玉栄高）②丹下龍哉（浦和東高）③関根啓悟（城北高）、野中麻浩（埼玉栄高）

▽女子Ⅱ①遠山千晶（甲府昭和）②松下由輝（千葉女子高）③藤岡奈々美（水戸第三高）、小泉里緒菜（太田第二高）



好評発売中

武道の礼法

小笠原 清忠

(弓馬術礼法小笠原教場
三十一世宗家) 著

相手に誠心が響く礼法を小笠原流礼法宗家が
直々に指南する、武道関係者必読の一書。



四六判・上製・278頁

◎ ご注文・お問い合わせ ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp>

剣道男子優勝Ⅱ高輪高(東京)



剣道女子優勝Ⅱ麗澤瑞浪高(岐阜)



柔道男子優勝Ⅱ東海大付属浦安高(千葉)



柔道女子優勝Ⅱ敬愛高(福岡)



Discover Tomorrow TOKYO ● 2020



左から竹田理事長、猪瀬都知事、土田選手、吉田選手、下村文科大臣、荒木田理事

IOCに立候補ファイルを提出

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会招致を目指す東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会は1月7日、スイス・ローザンヌの国際オリンピック委員会（IOC）に立候補ファイルを提出し、翌8日、東京都庁において、説明記者会見を開いた。

会見には猪瀬直樹東京都知事、竹田恆和招致委員会理事長、下村博文文科科学大臣、荒木田裕子招致委員会理事、土田和歌子招致アンバサダー、吉田沙保里招致アンバサダーの6名が出席した。

会見の中で猪瀬都知事は前回立候補時と比べて、選手村を31haから46haに広げたことや財政基盤が整っていること、1日2570万人の移動が可能な輸送網が整備されていること、10km圏内の宿泊施設を9000室用意できることをアピールした。

続いて竹田理事長は、安倍晋三内閣総理大臣から政府が全面的にバツ

クアップする旨を直接受けたとし、下村文科大臣も同じく首相よりスポーツ庁の創設を含め、オリンピック実現に取り組むよう指示があったことを明かした。

今回、立候補ファイルを提出したことで国際プロモーション活動が解禁され、ロビー活動が重要となる。その中心となる竹田理事長は、安心安全なオリンピックが開催できるのは東京だけであることを訴えていくと語った。

今後の招致スケジュール

2～4月	IOC評価委員会の視察
4月	スポーツアコード会議にてプレゼンテーション（ロシア・ソチ）
6月	評価委員会のレポートの公表 IOC委員へのテクニカル・プレゼンテーション
9月7日	IOC総会（アルゼンチン・ブエノスアイレス）にて最終プレゼンテーション
同日	正式決定

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



（B5判・上製・箱入・462頁）

古流武術研究家

横瀬

知行 著

日本の古武道

直接取材による2000枚の写真と豊富な資料で古流の全貌を紹介！

日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が一つの見事な体系となって現代に伝えられている。